



# 一粒耕心

## 秋冬ねぎ

「甘みが強く、  
とろけるような味わい」

農事組合法人  
能代グリーンファーム常盤

代表理事 幸坂 登さん

設立8年目を迎えた農事組合法人能代グリーンファーム常盤は、設立時30haだった経営面積が7年で2倍近く増えており、白神管内でも大変活気のある法人の一つです。現在、「秋冬ねぎ」の収穫の最盛期を迎え、圃場では朝早くから収穫作業が行われています。1日に約200ケースを出荷しており、ピーク時には230ケース以上にのぼることもあります。「今年の秋冬ねぎは、病害虫の影響も少なく品質も良好で、順調に出荷できています。値段も高値で推移し、従業員も意欲十分で明るい環境の中で収穫・出荷作業が進められている」と幸坂代表。ま



た、本格稼働した『白神ねぎ』の園芸メガ団地は2法人と2戸の農家が栽培に取り組んでいます。能代グリーンファーム常盤では省力・低コストでいかに高品質の作物を作るかが課題となっており、結束の人間が省ける「加工用ねぎ」（バラ売り用）の導入や大豆栽培では直播を行うなど様々なアイデアを出して試しています。去年の春からは、新規就農支援制度を利用した研修生が、東京から就農し独立に向け日々勉強をしています。幸坂代表は「将来農業を担う強い気持ちのある人を雇用していきたい。ここで勉強し、独立してくれば大変嬉しいですし」と笑顔で話してくれました。



経営規模	
ねぎ	4 ha
水稲	32 ha
大豆	24 ha